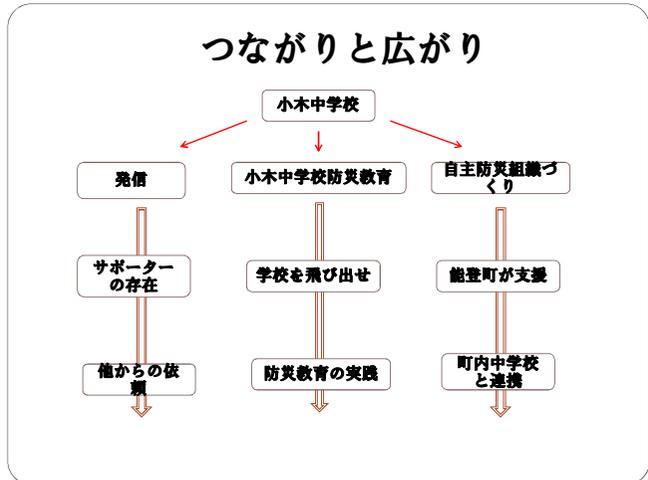


小木中学校の防災教育・活動

石川県能登町立小木中学校



小木中学校の防災教育 ～東日本大震災から～

- ・街頭募金 → 小木モリアス海岸
- ・小木からひとりの犠牲者もださないために
- ・町へ飛び出せ
→ 《津波について考えてみんけえ》フォーラム
- ・小木地区全体の避難訓練がしたい
→ たくさんの人に参加してもらうために

つながる

地域のお年寄りと交流
 保育園児と交流（防災の歌）
 小学生と交流（出前授業 防災体操 防災カルタ）
 大学生と交流（防災体操完成）



小木地区津波防災避難訓練

海上保安署の協力、自衛隊の協力、県危機管理室の協力

保・小・中・高合同避難訓練

授業の中で

- 国語**・・・小学生にわかりやすく伝えよう。
「津波が起こるメカニズム」
「津波から逃げる」「避難所に必要なもの」
「あなたの家は海拔何メートル？」
- 音楽**・・・防災の歌作り
→ **技術・家庭**・・・保育園で披露
- 技術**・・・標高看板作り、エコキュブラジオ作り
- 家庭**・・・防災ずきんになる座布団作り
地震に強い家（家具の配置）
- 総合的な学習**
・・・出前授業、避難訓練計画、防災学習会、
避難経路誘導灯（ペットボトル作りと設置）

小木中の活動を発信 ～広がり種～

- ・石川県こどもドリームフェスティバルに応募
「三つの掟」の劇を上演
- ・県防災学習会において
「三つの掟」の劇上演
自主制作「小木地区避難DVD」を配布
- ・いしかわ教育の日(県のフォーラム)において
「稲村の火」の劇を上演

広がる

新聞、テレビ、町の広報誌、
ケーブルテレビへ発信

活動記録やDVD編集
に携わってくれるサ
ポーターの存在



取材に答えることにより、自らの思いが
より強くなる生徒

外からの依頼

- ・隣の中学校で活動報告
- ・地域生協で出前講演会
- ・地区の健康クラブに
防災体操を教える
- ・県防災学習会パネラー
- ・PTA大会パネラー
- ・県生協防災学習会で発表

広がる

防災カルタが700組 作られる

小木中の大型防災カルタを基に、町の社会福祉協議会が作成

町の福祉施設、公民館、
各種クラブ、町内小中
学校に配布

県外からの視察

自校の防災活動の広がり
を実感
生徒の意欲を高める

避難場所誘導灯
ペットボトル

自主防災組織作り

～小木に自主防災を～

- ・小木町会長会
- ・小木壮青年会
- ・商店連盟
- ・婦人会
- ・防災士

連携

能登町に申請
活動に予算がつく

備蓄庫の設置
内容の充実
地区へのチラシ
(毎月15日は防災の日)
避難訓練実施費用

つなげる広げる

保育園、小学校、
高等学校、大学校
と連携

町が総合防災訓練を登校日に

教職員が次の職場
で実践

他の中学校と交流・連携
・非常食開発、発見
・総合防災訓練反省会
(町内4中学校合同)

教職員が創意工夫を

能登町提言
私たちの防災宣言

育まれる意欲、高まる自己有用感

意識調査 (全国学力学習調査質問紙調査より)

地域や社会をよくするために何をすべきかを
考えることがありますか。

全国意識 → 33.1%

小木中意識 → 66.6%

おわりに

生徒のつぶやきと発言がつないだ活動

「小木から一人の犠牲者もださない」

「避難訓練の参加者を増やしたい」

「自分にも役割をくれて、ありがとう
ございます」

「熊本地震、小木が何もしないわけには
いかない」

